

島 根 経 協

No.51 2012 . 夏季号



夕日の経島 (出雲市大社町日御碕)

目 次

平成24年度通常総会を開催	2
中国地方経営者協会会長会議を開催	5
山陰の金融経済動向	6
新規学校卒業予定者の採用について要請受ける	7
ドラッカー研修会を開講	7
米国視察を終えて ～寄稿=古志野純子氏(長岡塗装店)、宮尾正浩氏(ジェトロ松江)～	8
労政トピックス	15
2012年春季労使交渉妥結結果[県内]	16
2012年夏季賞与・一時金妥結結果[県内]	17
最近の労働判例から	18
委託事業進捗状況について	19
企業ボランティア推進委員会報告	20
労務相談	21
当面の事業予定	26
会員増強のご協力をお願い	26
新入会員のご紹介	26

〈写真〉夕日の経島 (出雲市大社町日御碕)

8月上旬斎行される日御碕神社神幸祭(夕日の祭り)の数日後、経島は笹竹が未だ神事の余韻を残し、日が落ちる頃には色づいた空とのコントラストが美しかった。

当協会では6月4日～10日、米国(ワシントンDC・ニューヨーク)視察を行いました。

古瀬当協会会長を団長に、当協会会員有志らの計24名が参加しました。

ここでは、視察に参加された古志野純子氏(株)長岡塗装店・常務取締役)、宮尾正浩氏(ジェット口松江・所長)から寄せていただいたレポートをご紹介します。



～米国視察研修を経験して～

古志野 純子
(株)長岡塗装店 常務取締役

私は人と人との繋がりについて思うことが多く、出会いやご縁を大切に生きていこうと決めている・・・はずだった。

なのに、この米国視察研修参加を決めてから出発までの間、今までお付き合いのない方々と9日間、参加者のほぼ全員が男性という団体で、果たしてわたしはどう行動できるのだろうか・・・と未知の自分に自信がなく、心細くなっていた。

今、帰国しここに寄稿することとなり、それは全く要らぬ心配だったと可笑しくなる。

米国そのものの偉大さに触れた以上に、同じ島根県にいてもこれまではお会いすることのなかった皆様とのご縁ができ、深い知識や経験を聞き、お人柄の寛大さややさしさに触れ学ばせていただいたことの多さに、思い出すたび感謝の気持ちが溢れてくる。

この研修で大きく印象に残っているのは、なんといっても日本大使館公邸を訪問できたこと。

ワシントン北西部の住宅街、ネブラスカ通りにある駐米日本大使公邸は、広大な敷地、滝が流れ鯉が泳ぐ池のある美しい日本庭園、日本にいるかと錯覚してしまうほど落ち着いたお茶室を備えた瀟洒な建築。35年前に完成した公邸は、ワシントンの各国大使公邸でも一、二を争う豪華さとのこと。

まだ朝露に濡れた芝生の上に出て記念撮影をした際、一世一代のイベントと着物を着ていた私に「裾は濡れませんでした？大丈夫ですか？」と大使婦人が優しく声を掛けてくださった。出発前、海外旅行に慣れておられる諸先輩方から「外国ではでき

れば着物を着たらいい」といただいていたアドバイスは正しかった。(感謝)。和服パワーの凄さは想像以上でどこでもたくさんの人に声を掛けていただき、英語が喋れたらならどんなにか素晴らしい交流ができただろうと後悔しきり・・・でも自分で着付けができるということがこれほど良かったと感じたことはなかった。

また、日本語の週間ニュースレター「Washington Watch」を発行していらっしゃる山崎一民氏による特別講演でお聞きした米中経済や大統領選挙のポイントなどは、私にとってはニュースで流れていても全く頭に入ってこない苦手ジャンルであったのに、その時は急に身近に感じられ、一気に物知りになった錯覚をしたほどよく理解できた。

ニューヨークではJETRO ニューヨーク・米国三井物産(株)・日本銀行NY事務所・米国野村証券・ニューヨーク市観光課とビックリするような場所ばかりを訪問させていただき、配布された資料の合計が優に1kgを超えていたように感じた。私の脳が受け入れ可能な情報量をはるかに超えてしまったので詳細をご報告するのは無理であるが、厳しい米国社会で颯爽と働いていらっしゃる皆さんは胸を張り、紳士的な動作が自然で本当に素敵だった。

【島根県人会】との交流会でも、元気に混判と今の自分たちの成功を語られる方々が多く、「墓参りに帰国する際には講演してもいいよ！」と気さくに言ってくださったSAMMY MIYAMOTOこと宮本朝美氏のお言葉が実現することを心から願っている。

こうやって現在日常業務に戻ってからも、与えられた刺激はふとした時に力となって出てくるのが分かる。新聞やニュースの内容が以前よりずっ

とクリアに聞こえる。

映画やTVの風景、アメリカの地図にふれるたび、今までとは全く違い興味や理解が深まって目に飛び込んでくる。まるで小さな魔法にかかったように・・・。

日頃から、「興味がない。関係ない。」は経営者が思ってはならないことと考え、どこへ行っても、何を見聞きしても、その後の仕事や生活にプラスにできるかは、受け取る自分の姿勢、心持ち次第であると思っていた。今回の視察研修を通じて、慣れきった日常生活の中で考え生きていくことを、少し無理してでもその中から飛び出してみても外の世界を知り、そちら側から冷静に自分の世界を眺め考えてみるのが大切なのだと実感した。

最近よく時間の使い方は【重要軸】【緊急軸】の2軸で次の4つの領域に整理できると聞くことがある。①緊急且つ重要(必須)、②緊急ではないが重要(最重要)、③緊急だが重要ではない(最小限にすべき)、④緊急でも重要でもない(無駄)。

9日間の視察研修は紛れもなく、②領域であり、目標設定や人脈づくりまた自己研鑽、学習のこの上もない機会だったと確信している。世間知らずで、社内において目の前に起こることを解決していくことが私の仕事と思ってきたが、これからはその仕事もこなしながら最も大切なことへの活動に比重を置いていかなければと思うようになった。

これから先も、機会があるとしたら、しり込みをせずワクワクする気持ちを持って出かけられる自分でありたい。(それには少しは語学を学ばねば・・・)

このような素晴らしい企画をしてくださった経営者協会のご尽力と研修期間中お世話になった皆さま、そして快く送り出してくれたスタッフに心から感謝し、この経験を大切に活かしていこうと決意している。